

大災害を乗り越えた砂防工事

内田地区は松本市の東南に位置し、昔埴原の牧(中山)北内の牧、南内の牧(片丘)といて、牧場があり、朝廷の馬を飼育する牧場であつたと言われております。

その馬を送り出す時に踊つたのが、ササラ踊りとされています。そのためか神社仏閣が多く牛伏寺を始め四ヶ寺、神社が三神社あります。又牛伏川の上流では、明治年間に大災害が起き、山肌がすっぽり抉りとられ濁流が新潟まで流れて行つたと言われています。

その時に砂防工事がされ、沢筋に切り出した石を敷き、根止



フランス式階段流路溝 (国の登録有形文化財)

内田地区だより

石積堰堤という石積がされ、又大正五年頃設計されたフランス式階段流路溝は、延長一四一メートルの間に十九段の石を敷きつめた流路があり、牛伏川砂防施設の中で特長のある構造物です。

それ以来災害らしいものはなく、内田は河川が牛伏川、舟沢川、大沢(塩沢川)の三河川あり、自然環境に恵まれ標高六百五十メートルから九百メートルの中山間地域で、松本平から日本アルプスが一望できる大地で、

昨年四月農事組合法人「内田営農」を立ち上げ一年が経過し農地保全にがんばっています。

又荒廃農地対策として、荒れた農地の木々を伐採開墾し農業委員会の東山荒廃対策委員が菜種をまき、今年は見事一面に咲きほころびました。

農業委員 春日 織部 (内田)



東山遊休荒廃対策(菜の花)

笹賀農業のこの頃

松本市の南端に位置し、奈良井川の左岸に南北八km、東南一・五kmと細長く、南部では果樹、葉洋菜を、北部は水田を中心に生産活動が行われています。

近年は、信州松本空港、大久保工業団地、二子住宅団地に生まれ変わり、平田境は流通業務団地となりました。

現在の耕作面積は二百九十七畝で、農協の十九年計画では、水田百八十畝、リンゴ四十四畝、洋菜十三畝等が中心作付で、売上高計画は八億七千万円です。

また住宅戸数は、全体で



レタスの入荷作業 (予冷库へ)

笹賀地区だより

三千五百世帯、内農家住宅は、一割の三百五十戸です。

当地もご多分にれず、就農者の減少と老

僅かな人々によつて農業が営まれていた現状ですが、散発的には若い帰農者が現れています。

農政転換のこの時を好機ととらえ、笹賀農業のビジョンを語り合い、将来を見据えた集落営農組合の設立に取り組み中です。

農業委員 赤羽 景基 (笹賀)



菅野中学校体験学習 (リンゴの摘果作業)

農家のみなさんに役立つ  
全国農業新聞を読みましょう

発行日 毎週金曜日 購読料 月 600 円

※ 7 月は購読料の口座振替 (1 月 ~ 6 月分) がありますので口座残高のご確認を

お申し込みは地区の農業委員、または農業委員会事務局 (電話 34-3226) まで